

産業実態に関するアンケート

調査企画・実施機関 三重県 雇用経済部 雇用経済総務課 企画調整班
〒514-8570 三重県津市広明町 13
(お問い合わせ) 担当者：大林、鈴木 電話：059-224-2355 F A X：059-224-3024

i) 最初にご回答者のご連絡先についてご記入下さい。

(1) 会社名・事業所名			
(2) 部署・役職		(3) 氏名	
(4) 所在地	(〒 -)		
(5) 電話番号・FAX	電話 - -	FAX - -	
(6) メールアドレス			

ii) 貴社全体の概要についてご記入下さい。

(1) 本社所在地	(〒 -)		
※本社所在地が i) (4) 所在地と同じ場合は記入不要です。			
(2) 設立年月	年 月	(3) 資本金	百万円
(4) 代表者氏名・年齢	(氏名) (年齢)		
(5) 従業員数(2018 年度末)	名		

※以下の設問は貴社全体ではなく、貴事業所についてお答えください。

問 1 貴事業所の製品・サービスについてお聞きします。

問 1-1 貴事業所の「産業分類」を、下記の選択肢リストから選んで番号をご記入ください。
また、現在の主力製品・サービス（売上高または生産高が最も多いもの）を 1 つご記入ください。

産業分類		主力製品・サービス	
------	--	-----------	--

【選択肢リスト：産業分類】

製造業	1. 食料品製造業	製造業	13. 窯業・土石製品製造業	サービス業	25. 農業、林業、漁業
	2. 飲料・たばこ・飼料製造業		14. 鉄鋼業		26. 鉱業、採石業、砂利採取業
	3. 繊維工業		15. 非鉄金属製造業		27. 建設業
	4. 木材・木製品製造業(家具を除く)		16. 金属製品製造業		28. 電気・ガス・熱供給・水道業
	5. 家具・装備品製造業		17. はん用機械器具製造業		29. 情報通信業
	6. パルプ・紙・紙加工品製造業		18. 生産用機械器具製造業		30. 運輸業、郵便業
	7. 印刷・同関連業		19. 業務用機械器具製造業		31. 卸売業、小売業
	8. 化学工業		20. 電子部品・デバイス・電子回路製造業		32. 金融業、保険業
	9. 石油製品・石炭製品製造業		21. 電気機械器具製造業		33. 不動産業、物品賃貸業
	10. プラスチック製品製造業		22. 情報通信機械器具製造業		34. 教育、学習支援業
	11. ゴム製品製造業		23. 輸送用機械器具製造業		35. 医療、福祉
	12. なめし革・同製品・毛皮製造業		24. その他の製造業		36. 宿泊業、飲食サービス業
					37. 生活関連サービス業、娯楽業
					38. その他サービス業

問 1-2 貴事業所の売上高または生産高、営業利益、売上高営業利益率、設備投資、研究開発費、従業者数について、「2018 年度実績 (2015 年度対比)」、および「今後 3 年間程度の見通し」に該当する番号を選択肢から各々 1 つ選んでご記入下さい。

【選択肢】①大幅な増加傾向 ②やや増加傾向 ③横ばい ④やや減少傾向 ⑤大幅な減少傾向

	売上高 または生産高	営業利益	売上高 営業利益率	設備投資	研究開発費	従業者数
2018 (H30) 年度実績						
今後 3 年間程度の見通し						

※「大幅な」は年率換算で 10%以上の増減率、「やや」は同 1 桁台%の増減率を目安として下さい。

問 2 操業（営業）環境についてお聞きします。三重県内の事業所の方にお聞きします。県外事業所の方は、問 2 を飛ばして、問 3 にお進みください。

問 2-1 ほかの都道府県に比べて、三重県は操業（営業）しやすい事業環境が整備されていると感じますか。該当するもの 1 つに○をつけてください。

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1. 操業（営業）しやすい | 2. やや操業（営業）しやすい |
| 3. やや操業（営業）しづらい | 4. 操業（営業）しづらい |

問 2-2 問 2-1 の選択の理由として考えられる項目について、「①操業（営業）環境の理由」列に、3 つ以内で○を付けてください。また、貴社の競争力を維持・強化させるために今後、改善・高度化を望む項目について、「②改善すべき項目」列に、3 つ以内で○を付けてください。

	①操業（営業） 環境の理由	②改善すべ き項目
1. 気候・地質・地盤・水資源等の自然的条件		
2. 地理的条件		
3. 電力や工業用水等のユーティリティ（用役）の整備		
4. 高速道路等広域交通体系や事業所周辺の地域交通体系の整備		
5. 港湾機能・空港機能の整備		
6. 製造ライン業務等の熟練労働力の確保		
7. 研究開発業務等の専門人材の確保		
8. 関連する大企業の集積		
9. 関連する中小・ベンチャー企業の集積		
10. 優れた高等教育機関・研究機関との近接性		
11. 対事業所サービス業の集積		
12. 関連する企業・研究機関等との人的ネットワークや信頼感		
13. 本社等自社の既存事業所との近接性		
14. 原材料・資材等の入手の利便性		
15. 質の良い食材の調達		
16. 人口集積等による市場規模や市場の成長性		
17. 顧客（市場）との近接性		
18. 行政の企業誘致・産業振興・産学連携等に関わる政策・取組		
19. 地方自治体の誠意・熱意・積極性・迅速性・信頼感		
20. 必要な敷地面積の確保		
21. 土地利用の自由度等周辺環境からの制約の少なさ		
22. 地価の安さ		
23. 良好な住環境		
24. 経営トップの当該地域に対する認知度・土地勘		

25. 特にない		
26. その他 ()		

問3 貴事業所の経営戦略等についてお聞きします。

問3-1 貴事業所が直面している経営上の課題は何ですか。該当するもの3つ以内に○をつけてください。

1. 大企業の進出による競争環境の変化	2. 同業者との競争激化	
3. 協力企業(外注先等)の倒産・廃業	4. 需要の低迷	5. ニーズ変化への対応難
6. 設備の老朽・不足	7. 過剰設備	8. 人件費の増加
9. 原材料の不足・価格の上昇	10. 販売価格の低下・上昇困難	11. 事業資金の借入難
12. 債務の過剰・金利負担の増加	13. 債権等の回収の悪化	14. 従業員の確保難
15. 従業員の過剰・削減難	16. 後継者不足(事業承継難)	17. 技能・知識の承継難
18. 災害への対応	19. その他 ()	

問3-2 今後、重点的に取り組みたい経営戦略は何ですか。該当するもの3つ以内に○をつけてください。

1. 新規顧客・連携先の開拓	2. コア技術・スキルの更なる活用	
3. 新規技術の導入・開発	4. 国内の既存市場での競争力確保	
5. 海外の既存市場での競争力確保	6. 国内での新商品・サービスの展開	
7. 海外での新商品・サービスの展開	8. 製品等のブランド力の強化	
9. ICT・IoT ^(※1) ・AIの導入・利活用	10. 知的財産戦略の構築	
11. 大学・研究機関との連携	12. 人材の育成	13. 特に必要ない
14. わからない	15. その他 ()	

問3-3 問3-1 および問3-2の「経営上の課題」「経営戦略」に取り組む上で、不足している、あるいは補完すべき経営資源は何ですか。該当するものすべてに○をつけてください。

1. 人材	2. 設備	3. 資金	4. 情報	5. 技術
6. 販路開拓	7. 企画	8. マーケティング	9. マネジメント	10. 信用力
11. デザイン	12. その他 ()			

問3-4 今後、貴事業所が発展していくうえで成長を期待している産業・技術分野について、最も期待している分野一つに◎、次いで期待している分野二つ以内に○を付けて下さい。また、今後成長を最も期待している国について、具体的な国名をご記入下さい。

産業分野	1. クリーンエネルギー(省エネ・新エネルギー・再生可能エネルギー・CO ₂ 削減等)		
	2. 情報通信・情報サービス	3. 医療・介護	4. バイオテクノロジー
	5. ナノテクノロジー・新素材	6. ICT・IoT ^(※1) ・AI	
	7. 次世代自動車(自動走行車、電気自動車、燃料電池自動車等)		
	8. ロボット	9. 航空・宇宙	10. 交通システム
	11. 水ビジネス	12. 観光	13. 食品・農業
	14. 水産・海洋関連	15. 対事業所サービス	16. 流通・物流
	17. 生活支援サービス	18. 人材サービス	19. 住宅関連
	20. 特にない	21. その他 ()	
国名			

<用語解説>

(※1) Internet of Things(インターネット・オブ・シングズ)の略で、「モノのインターネット」と呼ばれる。自動車、家電、ロボット、施設などあらゆるモノがインターネットにつながり、情報のやり取りをすることで、モノのデータ化やそれに基づく自動化等が進展し、新たな付加価値を生み出すこと。

問 3-5 自然災害の発生に備えて、貴社ではどのような取組を行っていますか。該当するものすべてに○をつけてください。

1. ハザードマップや被害想定の確認	2. 避難経路や避難場所の周知
3. 棚や機械の固定	4. 窓の飛散防止
5. 従業員の安否確認のルールの方策	6. 水・食料・災害用品などの備蓄
7. 定期的な防災訓練の実施	8. 災害対応の責任者の設置
9. 停電対策	10. 顧客データのクラウド化
11. 被災時に復旧を優先すべき業務の把握	
12. 代替生産に係る他社との協力協定の締結など	
13. その他 ()	
14. 自然災害の発生に備えた取組を行うつもりはあるが、まだできていない	
15. 自然災害の発生に備えた取組を行うつもりはない	

問 3-6 事業継続計画（BCP）の策定状況について、該当するもの1つに○をつけてください。

1. 策定しており、計画に基づく取組や訓練を行っている
2. 策定したが、書類の整備にとどまり、計画に基づく取組や訓練は行っていない
3. 策定中
4. 策定するつもりはあるが、まだできていない
5. 事業継続計画（BCP）という名称は知っているが、策定するつもりはない
6. 事業継続計画（BCP）という名称を知らない

※ 自然災害の発生に備えての取組を十分に実施しており、かつ、問 3-6 で「1」と回答された方は、問 3-7 を飛ばして次の問にご回答ください。

問 3-7 貴社での自然災害の発生に備えた取組がまだ不十分だと感じている方は下表の「① 自然災害への取組」の列に、問 3-6 で「2～6」のいずれかと回答された方は下表の「② BCPの策定や訓練」の列に、対応が十分でない理由や、対応するつもりがない理由について、それぞれ該当するものすべてに○をつけてください。

	① 自然災害への取組	② BCP の策定や訓練
1. 法律や規則での要請がない（取組が義務ではない）		
2. 顧客や取引先からの要求がない		
3. 金融機関に評価されない		
4. 他社との連携が必要であり、負担を感じる		
5. 複雑と感じ、取り組むハードルが高い		
6. 何から始めれば良いかわからない		
7. 人材不足		
8. 相談相手がいない		
9. 取組の重要性や効果が不明		
10. 売上・収入の増加につながらない		
11. 災害には遭わないと考えている		
12. 被災した時に対応を考えれば良い		
13. 周辺一帯が被災した場合、自社のみ事業継続することに意味を感じない		
14. 被災時には、国や自治体からの支援がある		
15. 大規模災害に被災したら廃業を考えている		
16. その他 ()		
17. 特に理由はない		

問 3-8 貴社では、人材不足、生産性向上等の課題解決に向けた I C T ・ I o T ・ A I （以下 I C T 等）の利活用について、どのように取り組まれていますか。該当するもの 1 つに○をつけてください。

1. 既に導入済みであり、課題解決に向けた取組を進めている。
2. 導入による課題解決の取組を検討中である。
3. 関心はあるが、今のところ導入は考えていない。
4. 関心がない。
5. 解決すべき課題がない。
6. その他（ ）

問 3-9 問 3-8 で、「3. 関心はあるが、今のところ導入は考えていない。」「4. 関心がない。」とお答えいただいた方にお聞きします。I C T 等の導入を考えていない、関心がない理由は何ですか。該当するものすべてに○をつけてください。

1. コスト負担感が大きい。
2. 得られる効果がわからない。
3. I C T 等に詳しい人材がおらず、取扱いが不安。
4. そもそも I C T 等がどういったものかわからない。
5. その他（ ）

問 3-10 三重県内の事業所の方に対してお聞きします。三重県内の中小企業・小規模企業の振興を図るため、特に三重県では平成 26 年 4 月に三重県中小企業・小規模企業振興条例を施行し、補助金や融資による資金面での支援に加え、専門家派遣、人材確保・育成への支援など、さまざまな支援施策を進めていますが、条例をご存知でしょうか。該当するもの 1 つに○をつけてください。

1. 知っている
2. 条例の名前は聞いたことがある
3. 条例の名前は知らなかったが、様々な支援施策があることは知っている
4. 知らなかった

問 3-11 事業承継の予定について、該当するもの 1 つに○をつけてください。

1. 後継者が決まっており、その後継者に事業を承継する
2. 後継者は決まっていないが、後継者候補はいる
3. 後継者は決まっておらず候補もいないが、事業を継続したい
4. 後継者がいないため、M&A 等による売却を考えている
5. 現在の事業を継続するつもりはない
6. 自分がまだ若いので、後継者を決める必要がない
7. その他（ ）

問 4 貴事業所の海外展開の取組についてお聞きします。

問 4-1 海外展開として現在どのような取組を行っていますか。貴事業所の主力製品・サービスに関して該当するものすべてに○をつけてください。

1. 輸出
2. 輸入
3. 海外拠点の設立（海外進出）
4. 外国人観光客の受入
5. 現在取組を行っていないが、以前に輸出または輸入から撤退した
6. 現在取組を行っていないが、以前に海外進出から撤退した
7. これまで取組を行っていない
8. その他（ ）

(1) 貴社の海外進出先はどこですか。具体的に国名を3つ以内でご記入下さい。

(2) 海外進出の際に障壁となったことは何ですか。該当するものすべてに○をつけてください。

1. 本社に現地拠点を管理・経営する知識・ノウハウが不足
2. 本社スタッフに海外とのコミュニケーション能力（語学力等）が不足
3. 現地拠点に派遣する日本人スタッフが不足
4. 現地の法制・規制（法律・税制・投資許認可・貿易等）に関する情報が不足
5. 海外投資資金の確保が困難
6. 現地スタッフの採用に関する情報・ノウハウが不足
7. 特にない
8. その他（ ）

1. 強化・拡大する 2. 現状程度を維持する 3. 縮小する
4. 撤退する 5. わからない

- | | | | |
|--------------|----------|-----------|-------------|
| 1. インドネシア | 2. カンボジア | 3. シンガポール | 4. タイ |
| 5. フィリピン | 6. ブルネイ | 7. ベトナム | 8. マレーシア |
| 9. ミャンマー | 10. ラオス | 11. 韓国 | 12. 中国 |
| 13. 台湾 | 14. インド | 15. パラオ | 16. オーストラリア |
| 17. ニュージーランド | 18. アメリカ | 19. カナダ | 20. メキシコ |
| 21. ブラジル | 22. ペルー | 23. チリ | 24. イタリア |
| 25. イギリス | 26. オランダ | 27. スイス | 28. スペイン |
| 29. ドイツ | 30. フランス | 31. ロシア | 32. その他 () |

1. できている 2. できていない

1. 不足している 2. 過不足はない 3. 過剰である

- | | |
|---------------------------------|-----------------|
| 1. 新規大学卒業者 | 2. 新規大学院卒業者 |
| 3. 新規高等専門学校卒業者 | 4. 新規高校卒業者 |
| 5. 第二新卒者（大学等を卒業後３年以内で社会人経験のある者） | |
| 6. 社会人経験者（5. 第二新卒者を除く） | 7. 既卒者（社会人経験なし） |
| 8. 特に年齢・学歴・経歴は問わない。 | |

問 5-4 採用の際、課題となっていることは何ですか。該当するものすべてに○をつけてください。

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1. 応募する人の数が少ない | 2. 求める資格を持った人が少ない |
| 3. 求める技術や知識を持った人が少ない | 4. 採用後の職場定着率が低い |
| 5. 応募者に内定を出したが辞退された | 6. 募集のためのノウハウ・人材不足 |
| 7. 募集のための資金不足 | 8. その他() |

問 5-5 外国人（外国の国籍を有する人を意味します。以下同じ。）の雇用状況と今後の雇用の検討状況について、該当するもの1つに○をつけてください。

- | |
|--|
| 1. 現在雇用しており、今後も雇用を検討している。(2019年4月1日時点の雇用人数:)人 |
| 2. 現在雇用しているが、今後雇用する予定はない。(2019年4月1日時点の雇用人数:)人 |
| 3. 過去に雇用しており、今後も雇用を検討している。 |
| 4. 過去に雇用していたが、今後雇用する予定はない。 |
| 5. 雇用した経験はないが、雇用を検討している。 |
| 6. 雇用した経験はなく、今後も雇用する予定はない。 |

※「6.雇用した経験はなく、今後も雇用する予定はない。」と回答された方は、問 5-6、問 5-7 を飛ばして次の問にご回答ください。

問 5-6 問 5-5 で回答した外国人の身分として当てはまるものはどれですか。「①雇用している（していた）外国人」「②今後雇用を検討している外国人」それぞれについて、該当するものすべてに○をつけてください。

	① 雇用している（していた）外国人	② 今後雇用を検討している外国人
1.身分に基づく在留資格のある者（永住外国人、定住者、日本人の配偶者など活動に制約のない者。通常の正社員、アルバイト等として。）		
2.技能実習生（技能習得に限定した業務に従事する者。）		
3.留学生、短期滞在者など（資格外活動。在学中の学生など、アルバイトとして。）		
4.技術・人文知識・国際業務など就労活動が具体的に特定される者（大学教授、語学教師、医師といった専門的・技術的分野や、国内大学を卒業した留学生、海外大学等卒業生といった高度外国人材。）		
5.特定活動を行う者（就労の可否が個別に指定されるもの。ワーキングホリデー、E P Aに基づく看護師など）		
6.新しい在留資格に基づく者（特定技能1号または2号。熟練技術者として。）		

問 5-7 外国人を雇用するにあたって課題となっている（なっていた）ことはなんですか。該当するものすべてに○をつけてください。

※問 5-6 での回答のうち最も人数が多い在留資格に基づく外国人についてお答えください。以下で回答する在留資格を問 5-6 の選択肢番号で記入してください。→【 】

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| 1. 言語（コミュニケーション）の問題 | 2. 社内の相談・育成体制 |
| 3. 日本人社員との関係 | 4. 仕事を覚えてくれない |
| 5. 報酬額の設定 | 6. 生活面のフォローが難しい |
| 7. 居住地域の住民との関係 | 8. どこに募集をかければ良いかわからない |
| 9. 受け入れるための制度がわからない | 10. 受入仲介団体との関係 |
| 11. 数年で辞めてしまわないか心配 | 12. 何となく不安がある |
| 13. 特に課題はない。 | 14. その他 () |

問6 人材の育成についてお聞きします。

問 6-1 人材の育成のために貴事業所ではどのような取組を行っていますか。該当するものすべてに○をつけてください。

- | | |
|------------------------|-------------------|
| 1. 計画的・系統的な OJT | 2. 目標管理制度による動機づけ |
| 3. 社内資格・技能評価制度等による動機づけ | 4. 同じ職種での人事異動 |
| 5. 異なる職種への配置転換 | 6. 他企業との人材交流 |
| 7. 企業内で行う Off-JT | 8. 企業が費用を負担する社外教育 |
| 9. 本人負担の社外教育に対する支援 | |
| 10. その他 () | |

問 6-2 貴事業所で今後強化していく必要があると考える人材はどのような人材ですか。該当するものすべてに○をつけてください。

- | | | |
|------------|---------------|---------------------|
| 1. 経営層 | 2. 中間管理層 | 3. 専門人材 |
| 4. 現場人材 | 5. グローバル化対応人材 | 6. データサイエンティスト (※2) |
| 7. その他 () | | |

<用語解説>

(※2) I o T、ビッグデータ、A I 等の技術革新による第4次産業革命において、重要な役割を担うと考えられている専門人材。具体的には、プログラミングやデータ分析など I T 分野の高度な技術・専門性を備えており、それらを活用して新たなビジネスやサービスを生み出すことで、企業の競争力強化に貢献できる専門人材。

問7 貴事業所の産学官連携等、外部連携の取組についてお聞きします。

問 7-1 これまで大学・研究機関や他企業等と組織的に外部連携をされたことはありますか。これまでに実施された外部連携の連携先について、該当する「連携先」欄に○を、「主たる連携先」の所在地について、該当する番号を記入して下さい。

【選択肢】①三重県内 ②三重県外 ③海外

	大学	国 研究機関	公設試験 研究機関	技術移転 機関	インキュ ベータ	産業支援 機関	大企業	中小・ベンチ ャー企業	その他	連携 なし
連携先										
主たる連携先										

問8 行政に対する意見や要望等がございましたら、ご記入ください。

質問は以上です。ありがとうございました。

※ご記入いただいた内容につきましては、個々の内容を実名とともに公表することはありません。また、本調査の目的外での使用は一切いたしません。